

理学部宇宙物理・気象学科 談話会のお知らせ

理学部宇宙物理・気象学科では6月26日（水）15時00分より、教室談話会を開催いたします。今回は京都大学白眉センターの榎戸輝揚特定准教授をお招きして、宇宙観測技術を用いた雷からの高エネルギー放射測定についてお話しいただきます。皆様お誘いあわせのうえ、ぜひご出席ください。

日時：2019年6月26日（水）15:00-16:00

場所：万有館4階 B405教室

題名：宇宙観測の技術で雷の謎に挑む

要旨：

私達が古くからよく知っているはずの自然現象である雷。実は、雷がどのようにして引き起こされるのか、その起源（トリガー）はまだ良くわかっていません。雷のトリガーには宇宙から降り注ぐ高エネルギーの粒子「宇宙線」が関係するという仮説もあり、雷は宇宙と地球をつなぐ面白い研究対象になっています。近年、この雷や雷雲から、エネルギーの高い光であるガンマ線が発見されるようになってきました。このガンマ線は、雷などの極限的な自然現象で現れる強い電場によって電子が加速され、大気にぶつかって放射されるものだとわかってきました。

日本海沿岸には冬季に発達した雷雲が到来し、強力な冬季雷が起きることが知られていました。私達のグループでは、宇宙X線観測で培った観測技術を、地上での雷や雷雲の観測網に転用し、いまだに謎に満ちた高エネルギー大気物理現象の観測に応用してきました。その結果、雷雲からはサーチライトのようにガンマ線が地上に降り注ぐ現象が次々に見つかり、一部の冬季雷では強いガンマ線により大気中で光核反応という原子核反応さえ起きていることが明らかになってきました。本講演ではなるべくわかりやすく、雷と雷雲にまつわる新しい観測結果を報告したいと思います。



榎戸輝揚（えのと てるあき）

京都大学白眉センター（宇宙物理学教室）特定准教授

2010年に東京大学大学院理学系研究科を修了。博士（理学）。スタンフォード大学、NASAゴダード宇宙飛行センターでの研究員を経て2015年より現職。日本物理学会若手奨励賞、宇宙科学奨励賞、ナイスステップな研究者認定、文部科学大臣表彰など多数の賞を受賞。

問い合わせ先：

理学部宇宙物理・気象学科 諏訪雄大・安藤紘基

Email: suwa_AT_cc.kyoto-su.ac.jp